

童話 宿の子供 (二) 千葉省 三

私は、すっかり嬉しくなつた。そしてこの木を一番から、後からも、みんな大切にしてやらうと思つた首をのびてのぞきこむ。

潮聲俳筵 (第四十一回) 伊坂香雨撰

追憶 互敬の慈悲大徳拾ひけり 力強き子の誇りし福は内 さらだの園のなまりや年男

高月會 三月例会

ホートルース水際際むる霞浦の面 花散る夜露の散る語りけり 悠々と花をかざして勝ホートル

私も便所へ行く。 歸つてくると、さつきの お習字が、つばで壁にはり つけてあるだれがつけられたか

拾華微笑 街。半月後の賑 ひと事や無い 入り込む、腕のすぐれた奴



親分で其上手前のやうなも、女はヤツ氣となつて仔 のを親分に必要がない細を話した...

艶女長兵衛

多日星師進化昭和六 (前編)の今日 負け難の抱かれて閉づ る眼かな 寂門子

夫の本領は義に在り、なほ進んで親の爲 死するにあり、君の誓なら討つ、親の誓

市原病院 院長 市原太郎 平町町電一四 電話四〇番

胃腸科 専門 院醫科性胃腸科村松

梅盛堂 松本幸松 平町通小路一番地

メリヤスミタビ モリタヤ洋品店 平五丁目電三五

高久病院 内科 外科 小児科

蜂ブード酒 美味の一杯 滋養の一杯

産科 婦人科 花柳病科 井阪醫院

別府散 諸神痛特效薬 渡邊いと

新入学生への プレゼントには 御携用にてゼヒ時計を

